

2016年11月●日

●●市議会議長 殿

団体名 大阪府保険医協会
代表者氏名 高本 英司
住 所 大阪府大阪市浪速区幸町 1-2-33 1階
連絡先 06-6568-7721 (担当：坂元・田川)
他9団体

大阪府福祉医療費助成制度の患者負担増に反対し 制度の拡充を求める「意見書」採択の陳情書

謹啓

向寒の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は市民の暮らしのためにご奮闘いただき、深く感謝いたします。

さて、大阪府では福祉医療費助成制度に関する研究会の報告書に基づく制度の見直しで、患者負担の引き上げなどが検討されています。現行の制度では、1回の通院につき500円以内の患者負担で医療が受けられます。しかし、見直し案では新たに調剤薬局でも患者負担（上限500円）が必要になり、1回の通院における負担が最大2倍となります。また月額上限も引き上げられ、1医療機関あたり1千円の上限は撤廃されます。これでは受診が必要な人ほど負担が何倍にも増えることとなります。

10月11日、大阪府は「大阪府子どもの生活に関する実態調査」の結果を公表しました。その中で、経済的な理由で子どもを医療機関に受診させられなかった経験があると答えた保護者は1.8%にのぼっています。また、府内母子家庭の約半数は総収入が「150万円未満」（H26年実施「第3次大阪府ひとり親家庭等自立促進計画に係るアンケート調査」）といった経済状況であり、ダブル・トリプルワークを余儀なくされるといふ苦しい生活実態です。今回の見直しは、大阪経済の低迷や国による患者負担の引き上げに苦しむ府民にさらに追い打ちをかけるものです。その上、府下の全自治体が上乗せ助成を実施している子ども医療費助成制度の財政に大きな影響を与えます。

大阪府に求められているのは、福祉医療費助成制度を抜本的に拡充し、苦しい生活実態にある市民を守る防波堤の役割の発揮です。

つきましては、別紙（案）のような意見書を大阪府に対してあげていただきたく存じます。

ご検討の程、よろしくお願い申し上げます。

謹白

【その他陳情団体】

- ・大阪府歯科保険医協会
- ・大阪民主医療機関連合会
- ・障害者（児）を守る全大阪連絡協議会
- ・特定非営利活動法人 大阪難病連
- ・新日本婦人の会 大阪府本部
- ・子どもの医療費助成制度の拡充をめざす大阪府民連絡会
- ・大阪高齢者運動連絡会
- ・大阪府関係職員労働組合
- ・府民要求連絡会